

医療 × 労働 × 職場の多様性の構築

ブリッジ 第17回研究会
アピアランスケアで「社会に生きる」を支援する

2021年11月14日(日) 13:00~16:00

安心&安全 優先の Zoom開催 会場参加が可能な状況になればハイブリッド開催への切り換えを検討します

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットブリッジは、医療従事者と企業関係者が垣根を越え情報や問題を共有し、多様性にも労働環境を構築することを目的に、毎回異なるテーマで専門の立場からのトークショーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。

17回目はアピアランスについて学び考えていきます。講師はこの領域における第一人者であり、長く国立がん研究センター 中央病院でアピアランス支援センター長を務められた野澤桂子先生です。アピアランスケアについては「医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因する苦痛を軽減するケア」と定義されます。社会に生きる時、治療による外見の変化に悩む人がいます。その悩みに寄り添い、そして社会復帰の一手を後押しする、支援者として知っておくべき大切なことが学べます。

さまざまな立場からの発言が活性化し、議論が深まり、具体的なある方を共に見出していくことがテーマとして発展することを期しています。

今回のPoint

- オンラインでも、会場開催同様、深く学ぶ機会を提供します
- 講師の安全を確保した上で、安定した通信環境の会場よりお送りします
- 学びを深める質疑応答・グループディスカッションなど、双方向参加型のプログラムをお届けします（Zoomはパソコンでの参加をお勧めします）

■ 対象 医療従事者、企業関係者、キャリアコンサルタント・社労士 など 仕事と治療の両立支援に関わっている方、これから関わろうとする方

■ 料金 ブリッジ会員：無料、非会員：2,000円
※ 申し込みと同時に入会費 1000円、年会費 1000円がかかります

■ 会場 オンライン（Zoomミーティング）

■ 定員 24名

■ 申込 <https://tassmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01wkqme72dnl1.html>
※ 申込は医療従事者・企業関係者・キャリアコンサルタント・社労士の方にのみ受付いたします
※ ブリッジHP「両立支援」からのお申し込みも可能です

■ 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットブリッジ

■ 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会

■ 協力 赤い羽根共同募金（ブリッジ研究会は配分金事業で実施しております）





主催：一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットブリッジ 後援：愛知県／名古屋市／（一社）名古屋市医師会



第17回ブリッジ研究会は、赤い羽根共同募金の協力により実施しています。



日本対がん協会の協力により休眠預金活用事業の一環として運営しています。